

消臭剤マイクロゲル 効果確認 簡易バブリングテスト

Industrial Support Team

Microgel × Bubbling Test

消臭剤の脱臭効果の確認をせずに、スプレーシステムやスクラバー脱臭装置を導入するのはリスクがあります。このような湿式の脱臭装置を導入する際に、脱臭効果を確認することは重要です。

実排気に対してデモ機を用いてテストを行うことが最も確実な方法ではありますが、時間と手間がかかります。本バブリングテストでは、対象臭気と薬液の相性や、湿式脱臭装置が適切であるかどうかの判断を行うための簡単なテストが可能です。また、会議室や現場など100V電源があればどこでもテストすることができるため、簡易的に効果を確認して頂けます。



■確認事項

簡易バブリングテストで以下の事が確認できます。

- マイクロゲルの効果及び対象臭気との相性確認
- 脱臭目標レベルの設定
- マイクロゲルの薬液選定

■湿式脱臭装置の基本概念

脱臭効果 = 消臭剤効果 × 装置能力 (気液接触率)

湿式の脱臭装置の脱臭効果は、上記の式に従っております。つまり、いくら薬液効果があっても、装置の能力が発揮されていなければ脱臭効果は期待できません。重要になってくるのは気液接触率です。

■マイクロゲルの効果確認

気液接触率が99%以上である簡易バブリング装置にマイクロゲルを入れ、サンプルガスをバブリングすることで、マイクロゲルの効果を確認致します。気液接触率が99%なので、薬液本来の脱臭効果を確認頂けます。



最も効果の高い消臭剤を選定できます。



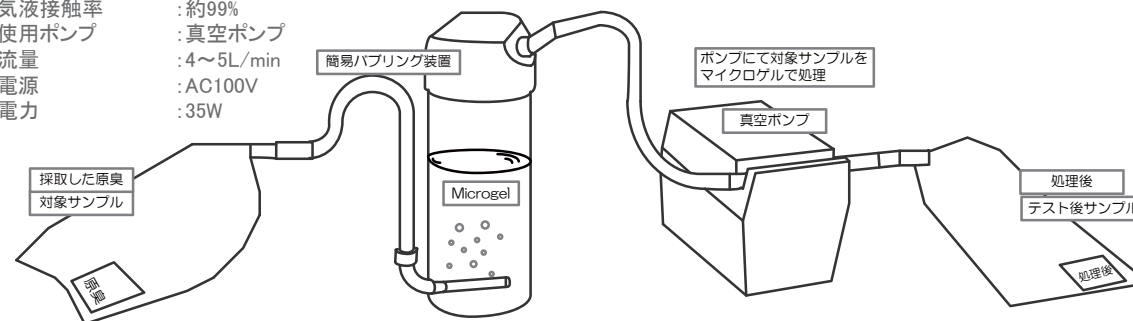
どこでも簡単にテストができます。

■バブリングテスト方法

- 1) バブリング装置に希釈した消臭剤マイクロゲルを入れます。
- 2) バブリング装置の蓋をしっかりと閉め、原臭臭気が入ったサンプリング袋を緑色のチューブの先に取り付けます。
- 3) 真空ポンプで原臭を吸引し、バブリング装置下部のノズル部に導きます。ノズルから放出されたガスは、マイクロゲルの薬液槽内を気泡の状態通過します。
- 4) 10秒後に真空ポンプ出口チューブから処理後のガスをサンプリングします。
※薬液槽にもともと存在するクリーンエアーを追い出すのに約10秒かかります。
- 5) 対象臭気とMG処理後の臭気を比較し、マイクロゲルの脱臭効果を確認します。

■テスト機仕様

液量	: 3L又は1L
気液接触率	: 約99%
使用ポンプ	: 真空ポンプ
流量	: 4~5L/min
電源	: AC100V
電力	: 35W



KALMOR[®]